

連合会病院における新型コロナウイルス感染症対応について
(パンデミック等研究会 講演概要)

国家公務員共済組合連合会

理事長 松元 崇

令和3年12月15日(水)

KKR ホテル東京

本日は、連合会病院における新型コロナウイルス感染症対応についてお話しさせていただきます。

連合会病院は、全国に32ありますが、国家公務員共済組合の組合員である国家公務員と、その家族、OB、さらには地域住民に良質な医療サービスを提供することを使命としております。

新型コロナへの対応は、2020年2月のダイヤモンド・プリンセス号事件から始まりました。これは、大変だと実感したのは、コロナ患者の搬送に派遣された横浜南共済病院の救急車が、テレビのニュースに映し出されたところ、たちまち横浜南共済病院での受診控えが起こったことからでした。救急車のコロナ患者は、他の病院からの依頼でその病院に運ばれたのに、そうだったのです。その後、別の地方の連合会病院をコロナ感染を知らずに受診した患者が、その後、感染者だと判明し、それが公表されたところ、その連合会病院でもたちまち患者の受診控えが起こりました。

そのような人々の反応の背景にあったのが、当時、報じられていた欧米での新型コロナ感染症被害の深刻さでした。日本では、屋形船で感染者が出たといったことが、ワイドショーで話題になっていましたが、イタリアやニューヨークでは、コロナによる死者が激増し、埋葬が間に合わず、棺桶が教会や体育館に並べられたり、食肉運搬用の冷凍車に保管されたり、ハドソン湾に病院船が回送されてきたりといった画像がお茶の間に流れていました。

3月に国会で特別措置法が成立し、4月に東京都が初の緊急事態宣言を発出し、4月17日には厚労省のクラスター対策班メンバーの西浦教授が、人との接触を8割制限しないと42万人が死亡するとの試算を公表しました。それは、かつての記憶、すなわち世界人口が今の4分の1の20億人だった時代に5000万人から2億人が亡くなったとされるスペイン風邪での日本の死者が39万人だったことからすれば、いかにもという試算でした。

そのような中、連合会の病院では、7月16日に第1回の新型コロナウイルス対応検証会議を開きました。この会議は、その後、4度にわたって開催しました。

7月16日の最初の会議では、ダイヤモンド・プリンセス号に対応した横須賀共済病院や立川病院の体験、感染が最初に深刻化した北海道の斗南病院やKKR札幌医療センターの体験などについての情報交換を行いました。また、患者の受診控えから、連合会病院全体として大幅な赤字が見込まれたことから、経営問題についての議論も行いました。

その会議のすぐ後の7月22日に発生したのが、連合会病院での初のクラスター感染です。この時は、亡くなった方はおられなかったのですが、病棟閉鎖などが必要になり、コロナ患者受け入れの難しさを思い知らされました。

その後、11病院14件のクラスターが発生しました。特に厳しかったのが、2020年11月中旬から翌2021年1月にかけてのC病院でした。C病院は、高度の医療を提供している病院で、他の病院から重症患者の転院を受け入れることも多いのですが、この時は、第3波の感染拡大の中、当初、陰性だった受け入れ患者が、その後コロナ陽性と判明したのです。その患者さんを感染源に、病院職員に感染し、20名の患者さんにも感染し、元々免疫不全の状態にあった方など10名がお亡くなりになりました。

そのような中、連合会では、2021年1月29日に、「新型コロナウイルス感染症対応病床確保に関する緊急会議」を開催しました。そこで問題となったのが、虎の門病院がほとんど満床でパンク状況なのに、他の病院でコロナ病床がほとんど使われていないところがあるという問題でした。当時、マスコミでは、東京で新型コロナ患者の救急車がたらいまわしにされてなかなか入院できない、病床使用率が50%を超えると危機的だといったことが報じられていましたが、その時の会議では、北海道の斗南病院が320%もの病床使用率になっていること、地元の商店などから多くの差し入れがあることも話題となりました。

そういった問題は、2月17日に開催した「斗南病院の対応、東京都の下り患者搬送体制に関する意見交換会」での議題とされました。会議では、静岡県で病床使用の情報が、全ての病院間で共有されていることも紹介されました。

それらの会議からの結論は、東京都ではコロナ病床の情報が関係病院間で共有されていないので、病床調整を行っている保健所がパンクした場合、病院間で自主的に補完することができなくなっているのではないかということでした。そこで、連合会として、4月25日に、東京都に対して「コロナ対応病床等に係る情報開示について」の要望を行いました。この時の要望は、非公開で行いましたが、要は、保健所がパンクしても、病床の情報が関係の病院間で分かっているならば、オーバーフローしている病院が、空き病床のある病院に、患者の受け入れを要請することができるのではないかということでした。ところが、この要望に対する都の答えは、病床情報を関係病院に開示することは、都に登録してもらっている病院との間の信頼関係を損なうことになるので、できないというものでした。

東京都に公開を要望したのは、補助金を受けている病床の情報です。補助金を受けている病床は、原則的にすぐにコロナ患者を受け入れなければならないことになっています。補助金を受けながら、コロナ患者を受け入れていない病床の情報を、都とその病院との信頼関係があるからという理由で開示しないというのは、なんとも納得のいかないものでしたが、4月の時点では、感染も下火になっていましたので、それ以上の要望は行いませんでした。

ところが、その後、7月に入ったころから第5波の感染拡大が始まりました。そこで、厚労省にも説明し、コロナ対策担当の西村大臣にもお断りしたうえで、7月29日、東京都に

対して、もう一度要望いたしました。その後、国は、10月15日に出した、「次の感染拡大に向けた安心確保のための取り組みの全体像の骨格」において、医療体制の稼働状況の徹底的「見える化」を打ち出しましたので、病床の情報公開は、今後、国ベースで進んでいくものと思われまます。

以下、連合会が行った、その他の新型コロナウイルス感染症対応をごく要点だけお話しします。

- 一連合会病院では、早くから帰国者・接触者・発熱外来を設けて診察にあたりました。
- 一2020年の6月からは、実務者による会議を開催してノウハウの共有に努め、2021年には地域住民へのワクチン接種に協力しました。
- 一大変感謝されたのが、政府からの要請にこたえて、大阪府や沖縄県に看護師を派遣したことです。
- 一2020年の9月には、連合会関係者のコロナ感染症への不安に対処するために、虎の門病院の看護師さんによる電話相談窓口を設けました。
- 一連合会の宿泊施設では、コロナで泊まり込みが必要になった医療関係者への支援を行いました。

斗南病院の病床使用率が320%にもなっていたことをご紹介しましたが、それは斗南病院で基本的に全医師、全看護師がコロナ患者に対応したことから可能になったことでした。それは、連合会の他の病院でも、とてもできなかったことです。それについて、斗南病院の院長（奥芝）は、斗南病院は、かつて大赤字でボロボロだった病院を建て直したという経験を持っており、そのDNAが生かされたのではないかと話しておられました。

実は、どこの病院とは申せませんが、連合会病院の中にも、新型コロナ患者を入院させるなら、自分はやめるといふ医師がいて、当初、コロナ患者を受け入れなかった病院もありました。新型コロナは潜伏期でも感染しますから、それはステルス対人地雷のようなものです。諸外国では、多くの医療関係者の死亡も報じられていました。見えない恐怖は、医師でも感じるのです。しかしながら、その病院も、院長の粘り強い説得で、その後、コロナ患者を受け入れるようになりました。

連合会病院の経験からしますと、新型コロナ感染症への対応のような、誰にも確実なことがわからない不安な状況の中で大事なのが、医師、看護師、事務部門、3者の連携です。そして、その連携の要にあるのが病院長のリーダーシップです。医師が、当初、コロナ患者の受け入れに抵抗していた病院も、その後は、院長のリーダーシップの下、沖縄に看護師を派遣したりと積極的に対応するようになり、帰ってきた看護師は、大変勉強になったと話して、院内の雰囲気は全く変わったとのことでした。

それにしても、新型コロナ対応で、最も負担が大きかったのは看護師さんたちでした。コ

コロナ患者の大半を占める中等症以下の患者は、急変する危険性があるという点を除けば、悪性の風邪と同じですから、医師は、日に1-2回、短時間の診察をすればいいのです。ところが、看護婦さんたちは、防護服を着たままで、医療行為の補助だけでなく、食事、清掃、身の回りの世話まで求められます。認知症患者が入院してくれば、徘徊防止といった点にも気を付けなければなりません。防護服は、1回ずつ使い捨てですが、着る時よりも脱ぐときに感染に気を付けなければならない厄介なものですから、どうしても着たままになります。汗だくになって、大変なことになったりします。さらには、子供がいれば、保育園に受け入れてもらえないなど、地域での、いわれのない誹謗中傷を受けたりもしました。日常的にコロナ患者に接触していることから自分が感染すること、それによって感染源となることへの不安や恐怖から家族と長期間、隔離してホテル住まいしなごらの通院といったこともありました。ですから、大阪や沖縄への看護師の派遣が、大変感謝されたのです。

各病院では、そのような看護師さんを中心とした医療関係者に、患者対応への緊張感、多忙感、疲労感に加え、長期の強度なストレスの後のバーンアウト等についてのメンタル・サポートを行ってきました。本部としても、メンタル・サポートについて、今後ともしっかりとフォローしていくことにしています。

最後に、わが国の新型コロナ感染対応は、コロナ敗戦などと言われたりしますが、諸外国に比べてむしろ優れていたことをお話しさせていただきます。それは、資料に付けたファイナンシャルタイムズ紙のデータを見ていただければ明らかです。これは、新型コロナ発生からの世界の死者の推移のグラフですが、ここに日本は登場しないのです。日本のコロナによる死者が、世界でいえば全く注目に値しないほど少なかったからです。諸外国、特に米国などでは、コロナによる死者が大幅に増えて、平均寿命が1-2歳も短くなったのですが、日本では、コロナによる死者が抑えられる中、季節性のインフルエンザによる死者なども少なく、平均寿命はむしろ伸びたくらいだったのです。

これは、マスクや手洗いといった国民の多大な努力に加えて、連合会病院をはじめとするわが国の医療関係者の献身的な貢献によるものだったということを申し上げて、話を終わらせていただきます。

連合会病院における 新型コロナウイルス感染症対応

パンデミック等研究会 令和3年12月15日

国家公務員共済組合連合会理事長

松元 崇

連合会病院 感染拡大初期の対応

2020年2月

○ 行政等からの横浜港ダイヤモンド・プリンセスに関する協力依頼

1) 人材派遣

- ・ **DMAT派遣**：乗客等の搬送（横浜南共済病院、横須賀共済病院）
神奈川県庁内での後方支援（立川病院）
- ・ **薬剤師派遣**：乗客の服薬指導（横浜南共済病院）
- ・ **臨床検査技師派遣**：船外での検体仕分け作業（横須賀共済病院）
- ・ **看護師派遣**：船内での問診票作成（横浜南共済病院）

2) 患者受入れ（入院）

3病院8名（立川病院、虎の門病院、横浜南共済病院）

行政への対応【直営・旧令】

➤ 病床確保のほか、検査所や軽症者用ホテル等への職員派遣、検査所設置協力等への依頼に対応

○…検査所設置協力 ◎…職員派遣協力 ●…DMAT派遣協力

病院		依頼内容
直 営	斗南	◎ ホテル宿泊療養者対応（医師1名・看護師4名派遣：4/28～5/7） ○ ドライブスルー検査所設置への協力 ○ プレハブ検査所設置への協力（2棟：ウォークイン用・待合用と採取用）
	水府	◎ 茨城県中央保健所ドライブスルー検査所へ派遣（医師・看護師派遣：5/28～）
	立川	● 厚労省からの要請により神奈川県庁内で後方支援（2/18のみ）
	九段坂	◎ 千代田区PCR検査所への派遣（医師・看護師・事務の3名派遣：現在継続中）
	北陸	◎ ホテル宿泊療養者対応（看護師2名派遣：4/23～）
	吉島	◎ 舟入市民病院（感染症指定病院）への後方支援（PCR検査）（～5/15） ◎ 見真学園（福祉施設）への医療支援依頼（医師・看護師1名派遣：～5/15）
旧 令	横須賀	● 横浜港ダイヤモンド・プリンセスからの搬送協力および主に船外での検体の仕分け作業（臨床検査技師派遣：2/15～2/22） ◎ 『神奈川モデル』構築に係る職員派遣（1名） ◎ 横須賀市救急医療センターの発熱外来（コロナ外来・PCR外来）への派遣（医師・検査技師・看護師、週3日：4/24～）
	横浜南	● 横浜港ダイヤモンド・プリンセスからの搬送協力および薬剤師による乗客の服薬指導 ● 横浜港ダイヤモンド・プリンセスへの派遣・対面による問診表作成（看護師1名：2/19派遣）
	横浜栄	○ ドライブスルー検査所設置場所の提供（栄区医師会、港南区医師会）

大阪府看護師派遣状況

病院名	役職名等	派遣先	派遣期間	日数	宿泊先
熊本中央病院	病棟師長	北大阪ほうせんか病院	R3.4.26 ~ 5.2	7	東横イン新大阪駅東口
佐世保共済病院	病棟看護師	北大阪ほうせんか病院	R3.4.26 ~ 5.5	10	東横イン新大阪駅東口
	ICU看護師	大阪コロナ重症センター	R3.5.6 ~ 5.19	14	難波南クリスタルホテル
新別府病院	手術室看護師	関西医科大学総合医療センター	R3.5.1 ~ 5.10	10	黒門クリスタルホテル
札幌医療センター	病棟看護師	大阪コロナ重症センター	R3.5.10 ~ 5.17	8	難波南クリスタルホテル
吉島病院	病棟看護師	関西医科大学総合医療センター	R3.5.3 ~ 5.22	20	黒門クリスタルホテル
水府病院	病棟看護師	りんくう総合医療センター	R3.5.7 ~ 5.21	15	関西エアポートワシントンホテル
	病棟看護師	りんくう総合医療センター	R3.5.7 ~ 5.21	15	関西エアポートワシントンホテル
	病棟看護師	りんくう総合医療センター	R3.6.1 ~ 6.15	15	関西エアポートワシントンホテル
広島記念病院	病棟師長	りんくう総合医療センター	R3.5.14 ~ 5.27	14	関西エアポートワシントンホテル
	外来看護師	りんくう総合医療センター	R3.6.1 ~ 6.15	15	関西エアポートワシントンホテル
高松病院	病棟看護師	大阪コロナ重症センター	R3.6.1 ~ 6.7	7	難波南クリスタルホテル
北陸病院	手術室看護師	りんくう総合医療センター	R3.6.1 ~ 6.14	14	関西エアポートワシントンホテル
新小倉病院	病棟看護師	りんくう総合医療センター	R3.6.1 ~ 6.15	15	関西エアポートワシントンホテル
呉共済病院	病棟看護師	マイルホテル プレミアム大阪東心斎橋	R3.5.25 ~ 5.31	7	黒門クリスタルホテル
人数計	15			201	

沖縄県看護師派遣状況

病院名	役職名等	派遣先	派遣期間	日数	宿泊先
東北公済病院	病棟看護師	沖縄県立南部医療センター	R3.6.12 ~ 6.26	15	Mr.KINJYO in こども病院前
	透析セ看護師	沖縄県立南部医療センター	R3.6.12 ~ 6.26	15	Mr.KINJYO in こども病院前
	病棟看護師	沖縄県立南部医療センター	R3.6.26 ~ 7.10	15	Mr.KINJYO in こども病院前
	病棟看護師	沖縄県立南部医療センター	R3.6.26 ~ 7.10	15	Mr.KINJYO in こども病院前
水府病院	病棟看護師	沖縄赤十字病院	R3.6.14 ~ 7.5	22	東急ステイ沖縄那覇
九段坂病院	病棟看護師	沖縄県立中部病院	R3.6.7 ~ 6.19	13	春日観光ホテル
虎の門病院	診療看護師	沖縄県立宮古病院	R3.6.8 ~ 6.29	22	Mr.KINJO MIYAKO ISLAND
	診療看護師	沖縄県立宮古病院	R3.6.8 ~ 6.29	22	Mr.KINJO MIYAKO ISLAND
	病棟看護師	沖縄県立宮古病院	R3.6.8 ~ 6.29	22	Mr.KINJO MIYAKO ISLAND
	ICU看護師	沖縄県立宮古病院	R3.6.8 ~ 6.29	22	Mr.KINJO MIYAKO ISLAND
	手術室看護師	沖縄県立宮古病院	R3.6.8 ~ 6.29	22	Mr.KINJO MIYAKO ISLAND
大手前病院	看護部次長	沖縄県北部病院	R3.6.9 ~ 6.18	7	グリーンリッチホテル沖縄名護
	看護部次長	沖縄県北部病院	R3.6.9 ~ 6.18	7	グリーンリッチホテル沖縄名護
広島記念病院	手術室看護師	沖縄県立八重山病院	R3.6.21 ~ 7.40	14	コンフォートホテル石垣島
吉島病院	病棟看護師	沖縄県立中部病院	R3.6.15 ~ 6.28	14	Mr.KINJO in URUMA
熊本中央病院	病棟看護師	沖縄県立中部病院	R3.6.14 ~ 6.20	7	Mr.KINJO in URUMA
横須賀共済病院	外来主任	浦添総合病院	R3.6.7 ~ 6.11	5	ホテルパームロイヤル那覇
	外来看護師	浦添総合病院	R3.6.7 ~ 6.11	5	ホテルパームロイヤル那覇
横浜栄共済病院	病棟看護師	浦添総合病院	R3.6.6 ~ 6.17	12	ティーダカン館城間
佐世保共済病院	病棟看護師	沖縄県立中部病院	R3.6.7 ~ 6.16	10	春日観光ホテル
呉共済病院	病棟看護師	沖縄赤十字病院	R3.7.10 ~ 7.18	9	コンドミニアム エルズイン 那覇 樋川 by コルディオプレミアム
人数計	21			295	

新型コロナウイルス対応検証会議

参加者：本部役職員、連合会病院病院長・事務部長・看護部長

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	令和2年7月16日(木)	令和2年12月4日(金)	令和3年4月15日(木)	令和3年7月15日(木)
時間	13:30~17:20	10:00~16:00	13:30~17:30	13:30~17:15
場所	本部会議室及びWEB開催	KKRホテル東京及びWEB開催	本部会議室及びWEB開催	KKRホテル東京及びWEB開催
議題1	第1部 「新型コロナウイルス対策の検証について」 ・第1波で行われた取り組みの総括 【発表】虎の門、横須賀、立川	第1部 「新型コロナ対策の現状と今後の展望」 ・病棟運用と相談窓口開設 ○虎の門 副院長兼看護部長	・令和3年度事業計画等について ・第三次中期計画中間の見直しについて	第1部 「新型コロナウイルス対策の検証について」 ・大阪における新型コロナ感染第4波の対応状況 ○大手前病院長
議題2	・第2波に向けた対策	・経営改善への具体的取組 【発表】浜の町、横浜栄	「withコロナに対応した経営戦略」 ・ covid-19 に対する東京共済病院の取組と役割・展望について」 ○東京共済病院長	・ウィズコロナ時代の病院経営 ○横須賀共済病院長
議題3	第2部 「経営立て直しへの方策について」 ○病院部長 ・4月、5月経営状況について ・経営危機に対する支援について	・新型コロナに対する最新情報 ①日本のコロナの実態 ②既存治療薬の応用とワクチンの開発及び問題点	・新別府病院クラスター報告」 ○新別府病院長	・大阪府、沖縄県への看護師派遣 ○佐世保共済病院看護師 ○虎の門病院看護師
議題4	本部からの連絡事項 ・令和元年度決算 ・第三次中期計画の中間的見直し ・経営戦略会議の議題選定 ・オンライン資格確認	第2部 「病院経営を支える職場のあり方」 ・職員のメンタルヘルスへの取組 ○札幌 看護部長	・事前アンケート集計結果について	本部からの報告 ・東京都の下り搬送等について
議題5		【講演】 「組織を支える人づくり、働き方改革」 ○医療法人社団東山会理事長	【講演】 「医療のデジタル・トランスフォーメーション」 ○医療法人社団鉄祐会理事長	第2部 【講演】 「新型コロナウイルス感染症対応から学ぶ病院と地域医療のこれから」 ○神奈川県健康医療局医療機器対策本部室 医療危機対策統括官

共済組合員・OBとそのご家族の方へ

COVID-19

新型コロナウイルス 相談窓口

- ・職場で感染者が出たが、受診せず帰宅しても大丈夫か？
 - ・咳がでるが、PCR検査は受けられるのか？
 - ・発熱したが朝には熱が下がっていた。出勤しない方が良いか？
- このような時は新型コロナウイルス相談窓口にご相談ください。

一人で抱えず
お電話ください

症状・不安・対応

- ・息苦しい
- ・感染している心配
- ・だるい
- ・近くに感染者が出た
- ・高熱がある

新型コロナウイルス相談ダイヤル



フリーダイヤル

0120-32-0567

- 対象：(原則として)共済組合員・OBとそのご家族 ●受付時間：(原則として)平日8:00-16:30 *土日を除く

ご案内の流れ(例)

相談窓口にて電話受付



来院による診察
(必要に応じてPCR検査を実施)
※近隣の医療機関等のご案内



必要に応じて入院等の措置



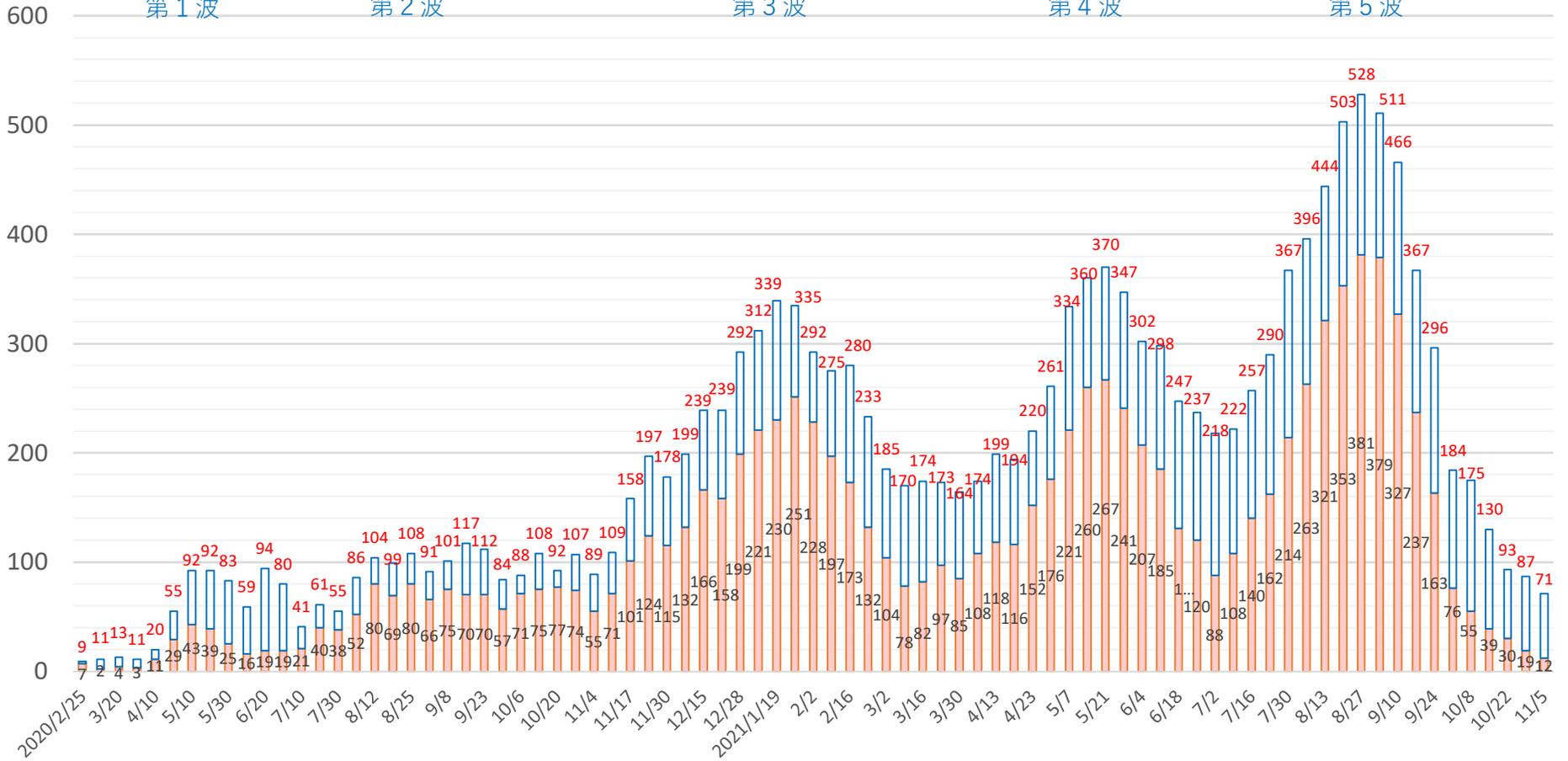
国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

(人)

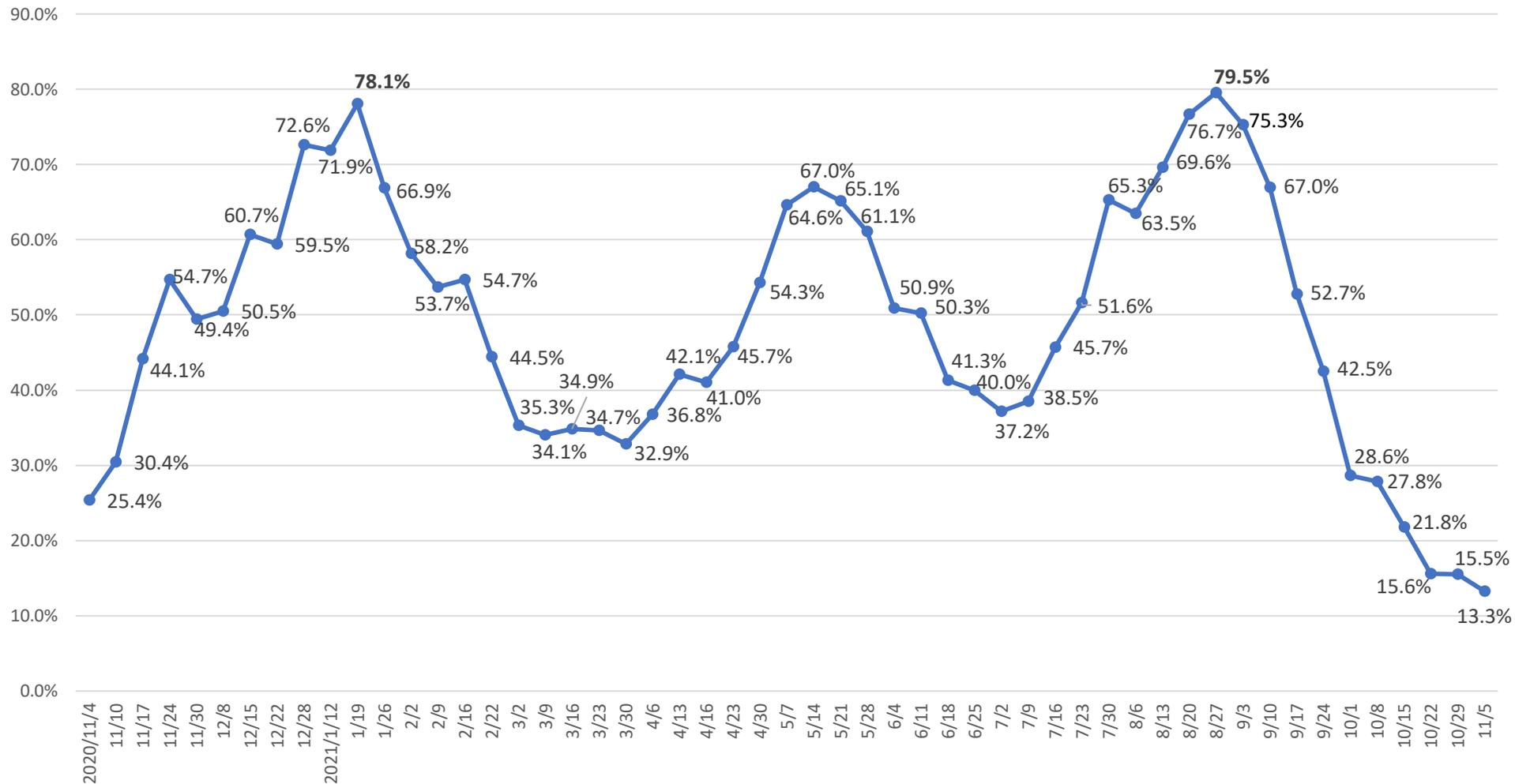
連合会病院新型コロナウイルス感染症等入院患者数推移

2020.2.25～2021.11.5

陽性 疑似症 合計



COVID-19病床使用率



新型コロナウイルス等病床の使用状況（病院毎）

2021.1.19現在

		疑似症例			陽性				患者数 合計	コロナ対応 ベッド数 合計	病床 使用率
		入院 患者数	ベッド数	病床 使用率	入院 患者数	中等症 ベッド数	重症 ベッド数	病床 使用率			
直 営	札幌	0			18	22	4	69%	18	26	69%
	斗南	12			4	5		80%	16	5	320%
	東北	0			0	0		—	0	0	—
	水府	0			0	0		—	0	0	—
	立川	1			18	30		60%	19	30	63%
	九段坂	0			1	23		4%	1	23	4%
	虎の門	62	38	163%	25	47	5	48%	87	90	97%
	虎の門分院	10			0	0		—	10	0	
	三宿	8	7	114%	9	13		69%	17	20	85%
	北陸	0			0	0		—	0	0	—
	名城	0			9	20		45%	9	20	45%
	東海	0			0	0		—	0	0	—
	枚方公済	0			6	5		120%	6	5	120%
	大手前	1			7	8		88%	8	8	100%
	六甲	0			2	2		100%	2	2	100%
	高松	1	4	25%	0	0		—	1	4	25%
	広島記念	0	6	0%	0	0		—	0	6	0%
	吉島	0			11	25		44%	11	25	44%
	新小倉	0			1	0		—	1	0	
	千早	6			0	0		—	6	0	
浜の町	0			16	17		94%	16	17	94%	
新別府	0			4	13		31%	4	13	31%	
熊本中央	0			13	12		108%	13	12	108%	
旧 令	東京	0	5	0%	22	18		122%	22	23	96%
	横須賀	0			22	23	6	76%	22	29	76%
	横浜南	0			7	7		100%	7	7	100%
	横浜栄	4			18	18	7	72%	22	25	88%
	平塚	1			0	5		0%	1	5	20%
	舞鶴	0			1	2		50%	1	2	50%
	呉	1			11	24		46%	12	24	50%
	忠海分院	1	2	50%	0	0		—	1	2	50%
	佐世保	1			5	11		45%	6	11	55%
全体		109	62	175.8%	230	350	22	61.8%	339	434	78.1%

新型コロナウイルス等病床の使用状況（病院毎）

2021.8.27現在

	疑似症例			陽性				患者数 合計	コロナ対応 ベッド数 合計	病床 使用率	
	入院 患者数	ベッド数	病床 使用率	入院 患者数	中等症 ベッド数	重症 ベッド数	病床 使用率				
直 営	札幌	56	16	350%	17	22	4	65%	73	42	174%
	斗南	1	10	10%	3	5	1	50%	4	16	25%
	東北	0			0			—	0	0	—
	水府	0			8	10		80%	8	10	80%
	立川	0			24	35		69%	24	35	69%
	九段坂	0			6	23		26%	6	23	26%
	虎の門	37	38	97%	43	47	11	74%	80	96	83%
	虎の門分院	7			12	12		100%	19	12	158%
	三宿	15	18	83%	11	22		50%	26	40	65%
	北陸	0			0			—	0	0	—
	名城	0	19	0%	12	20		60%	12	39	31%
	東海	0			0			—	0	0	—
	枚方公済	0			19	21		90%	19	21	90%
	大手前	0			9	10		90%	9	10	90%
	高松	1	4	25%	6	6		100%	7	10	70%
	広島記念	1	6	17%	5	5		100%	6	11	55%
	吉島	0			15	30		50%	15	30	50%
	新小倉	5	3	167%	7	11		64%	12	14	86%
	千早	17			4	6		67%	21	6	350%
	浜の町	0	3	0%	18	32	3	51%	18	38	47%
新別府	0	2	0%	13	13		100%	13	15	87%	
熊本中央	0			13	16		81%	13	16	81%	
旧 令	東京	2			22	25	1	85%	24	26	92%
	横須賀	2	8	25%	23	17	9	88%	25	34	74%
	横浜南	0			17	14	4	94%	17	18	94%
	横浜栄	2	8	25%	25	25	4	86%	27	37	73%
	平塚	0	4	0%	17	15		113%	17	19	89%
	舞鶴	0			3	4		75%	3	4	75%
	呉	1	2	50%	15	24		63%	16	26	62%
	忠海分院	0	2	0%	0			—	0	2	0%
	佐世保	0			14	10	4	100%	14	14	100%
全体	147	143	102.8%	381	480	41	73.1%	528	664	79.5%	

第3波感染者急増への静岡県の対応

重点病院病院長会議を発足（2020.12.17）

（重症者が19名まで急増し、対応病床が逼迫したため急遽開催）

- ・重症病床の増加（8床）、現状の正しい重症病床の数の確認
（33床から23床に実稼働病床の確認、8床を加え31床への**実稼働病床増床**を確認）
会議を重ねるごとに**重症病床、対応病床が増加した**。
- ・県全体の感染者入院状況の共有：翌日から**全県の入院状況が共有**できるようになった。
- ・院内感染病院への病院間サポート体制の確立
- ・**広域搬送患者の搬送適用、連絡の一本化**（病院間、医師間ではなく、県・保健所ルートで）
- ・透析施設、高齢者施設でのクラスター発生時の対応、感染者入院の適応、広域搬送の適応
- ・人工呼吸器管理、ECMO管理の適応の確認、ECMO対応施設の指定。
- ・ホテル収容基準の見直し：**状態悪化時は迅速に病院が受け入れることを病院長が了解した**。
- ・ドライブスルー方式での軽症感染者の振り分け（直接ホテル、自宅、病院入院）
- ・感染対応できる病院、病床を増加させる方策
- ・**感染後の後方病院への転院基準の明確化、後方病院の増加対策**



CHUTOEN GENERAL MEDICAL CENTER

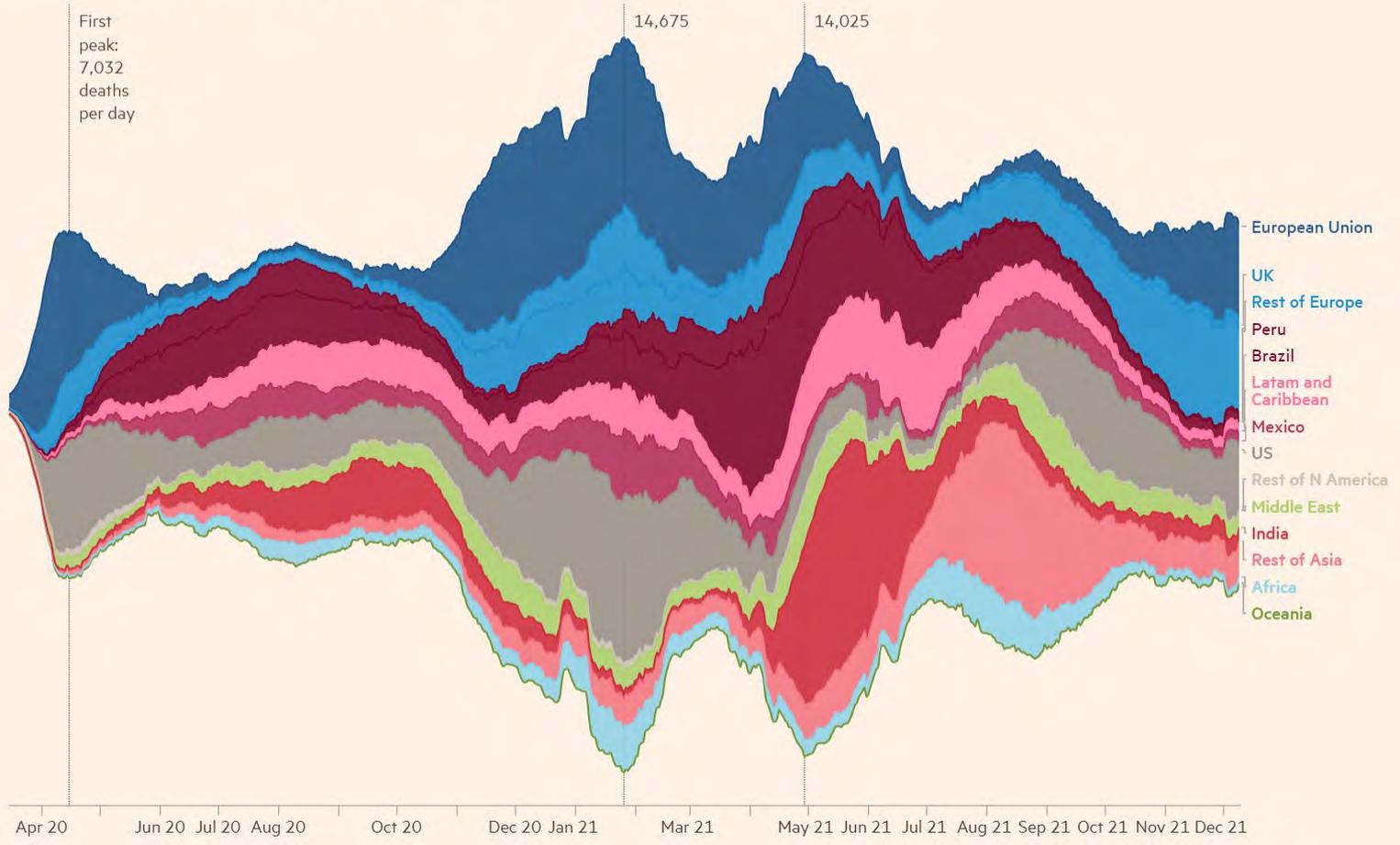
Chutoen General Medical Center

2021.12.3 KKR経営戦略会議資料より

（掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 企業長・院長 宮地正彦氏）

7,000 deaths each day are still attributed to Covid-19

Daily deaths attributed to Covid-19 (7-day rolling average)



How excess deaths compare around the world since Covid-19 outbreaks began

Measures of excess mortality* by country, during Covid outbreaks



*Adjusted for trend over recent years.
 Sources: FT analysis of national mortality data, CONASS and Karlinsky & Kobak's World Mortality Dataset. Data updated November 2
 FT graphic: John Burn-Murdoch / @burnmurdoch
 © FT